



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSACA CENTENNIAL

C/O TOSHIHIDE AKIZUKI
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
 HYOGO JAPAN

1999年7月 第1号
 Chartered July 20, 1982

標語(1999~2000)

クラブ会長 『楽しい奉仕活動、笑ってゆるして』
 国際会長 "Enthusiasm makes the difference"
 『やる気が鍵だ』
 アジア会長 "より良い世界を次世代に—美しい地球を守ろう"
 『Build a better world for the next millennium』
 西日本区理事 "21世紀に向かって新しい創造を"
 中西部長 "ワイズの原点を見つめ、より良きワイズライフを"

クラブ役員

会長: 川村 一夫
 副会長: 栗山 佳三
 " : 芳崎 栄治彦
 書記: 山田 孝彦
 会計: 三浦 直之
 ネット員: 隅田 恵子

月間強調テーマ: 『KICK OFF—EMC』

7月の聖句

一行が歩いていくうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女がイエスを家に迎え入れた。彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足元に座って、その話に聞き入っていた。マルタは、色々なもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。
 「主よ、私姉妹は私だけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれる様におっしゃって下さい。」主はお答えになった。
 「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

(ルカによる福音書 10章38~42節)

7月の誕生日

坂本ネット(21日)です。Happy Birthday!

7月の例会当番

第3班の皆様です。よろしくお願ひします。
 (田中、福永、山村、隅田、池永(兼))

7月第1例会

日時: 1998年7月21日(水) 6.30-8.30p.m.
 場所: 大阪リーガランドホテル

- 司会: 隅田 保君
 川村 会長
 1. 開会点鐘 川村 会長
 2. ワイズソング 同
 3. 聖句朗読 田中 穰二君
 4. ゲスト紹介 川村 会長
 5. 日々の糧・黙祷 同
 6. 晩餐 同
 7. 新旧会長交代式 司会 加藤 中西部長
 8. 年次総会 議長 川村 会長
 新年度予算審議 説明 川村 会長
 9. 新年度方針表明 川村 会長
 10. 事業委員長挨拶 各事業委員長
 11. 西日本区大会 代表 藤原直前会長
 参加報告
 12. ハワイ旅行 参加者一同
 参加報告
 13. お誕生日祝い 同
 14. ニコニコ献金 ドライバー
 15. 役員会・委員会報告 役員・委員長
 16. YMCA ニュース 神田連絡職員
 17. 閉会点鐘 川村 会長

会員数		例会出席	第1	第2	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	24名	メン	16名	9名	6月: 切手 307gr.	6月: 22,100円
広義会員	0名	メネット	5名	1名	現金 2,500円	
合計	24名	コメット	名	名	累計: 切手 11,066gr.	累計: 199,900円
出席率	66.7%	ビジター	名	名	現金 30,000円	
(マイクアップを純)		ゲスト	1名	名		(クリスマス献金、オークション 売上げ、記念献金を除く)
		合計	22名	10名	(明細は別掲"BF報告"の通り)	

— 今月の聖句に寄せて —

英語でプライオリティーという言葉があります。辞書には「～より重要なこと。優先権。」等の訳がつけられています。即ち物事の優先順位という意味です。

キリストにとっては彼の説教（神の言葉）を聞くということが、他のもてなしなど以上にプライオリティーを持っていることでした。

私たちは日常忙しい仕事を過ごしていると、「今やるべきことのプライオリティーは何か」ということを見失いがちです。しかし、「自分にとってのプライオリティー」を正しく把握していると、物事は極めて円滑に進んで行くものです。特に会議等においては明確なプライオリティーの判断は欠かすことのできないものです。

さて、ワイズメンズクラブの活動にとって First Priority は何でしょう。一度例会でゆっくり時間をとって話し合ってみてはいかがでしょうか。

(聖句選・解説：黒田巖之)



(奈良伝氏について語られる鈴木メン)
— 西日本区大会にて —

— 6月第2例会報告 —
(6月23日(水)6.30p.m.)

福永 嘉彦

1. 7月例会プログラム：概略別掲の通り

- ・新年度予算は昨年度を参考に7月10日までに三浦君が作成。98/99年度決算は8月末までに作成。
- ・新会長、各事業委員長方針については7月4日までにプレティン担当まで提出、発表は1人2-3分程度

2. 8月例会プログラム

- 開催日時：8月18日(水) 6.30p.m.を予定
- 7-パーティー：なかのしまクラブと共催の予定
- 場 所：ホテルサンガーデン堂島
- 催 し：両クラブにて協議・決定
- 会 費：5,000円
- そ の 他：1会員1名の会員候補を同伴

3. クラブ運営・委員会関係

- ① 8月以降の例会会場選定の件
 - 第1例会：ホテルサンガーデン堂島
食事形式、費用は現行通り
 - 第2例会：土佐堀YMCA9F会議室。
費用6,300円。夕食は取得し出席
- パーティー：原則として同上ホテル利用
- ② プレティン用紙印刷
太陽社見積通り決定(3,000部、31,500円)
- ③ EMC
 - ・中村氏入会式(8月パーティーの席上を予定)
 - ・津田葉氏退会につき承認
- ④ その他
 - ・7月第2例会後ホテル内クラブ荷物移動
 - ・今般作成のTシャツは2,000円で販売

— 6月第1例会報告 —
(6月16日(水)6.30p.m.)

6月例会はピジター(中村茂高氏)を迎え、相変わらずの高出席率の中で、神田氏の名司会で始まりました。冒頭、先日召天された鈴木美藤メネットを偲び黒田メンによるお祈りが捧げられましたが、会員一同人間の絆と夫婦愛につき改めて考えさせられたひとときでした。

晩餐の後、藤原会長を皮切りに各事業委員長より本年度の成果報告がなされました。本年度は各事業委員会とも際立った成果は見られなかったものの、秋月会長の急逝、鈴木メネットの召天などの悲しみを乗り越え、BF部門の好成績、出席率の向上、メネット会の活発な活動など、着実な歩みを続けた1年であったとの印象を強くしました。

続いて年度最後の恒例の優秀ワイズ表彰が行われました。今年はこれまでと趣向を変え、12分野での優秀ワイズ表彰が行われ、コメントを含む会員全員が出来上がったばかりの「クラブ特製Tシャツ」を授与されました。複数受賞でも賞品は合計で1枚でしたが、入賞数が多いほどクラブに対する貢献が大きいことを示しており、それなりの刺激とインセンティブを会員の皆さんに与えたものと感じました。

最後にハワイ旅行参加者に対する連絡事項、及び8月以降の例会場の変更などにつき報告がなされましたが、ハワイ旅行参加者に対しては「8月のピアーパーティーでは是非フラダンスを披露頂きたい」などの要望が出されるなど、いつもながらの和気あいの雰囲気の中で本年度最終の例会を終了致しました。(藤原記)



(黒田メンによる追悼の祈り—第1例会)



(栗山中西部長の事業報告—西日本区大会にて)

『第2回西日本区大会が開催されました』
～BF優秀賞、プレティン優秀賞を受賞!～

年に一度のワイズの集い、西日本区大会が6月19日(土)、20日(日)の両日、大阪府泉佐野市、泉の森ホールにて開催されました。当日は雨模様の中、西日本各地より約700名のメンメネットが集い、賑やかな交際の場となりました。

当クラブからは、栗山、山田、三浦、隅田の中西部役員4氏と、藤原会長、山村メネットの計6人の出席のみで、折角のワイズパワーの盛り上がりをも多くの会員が実感できず大変残念でした。

来年はより近い京都での開催となりますので、多くの会員の参加を期待致しております。

大会では、当クラブは掲記の如く、「BF総合達成率優秀クラブ6位賞」、「BF100%達成賞」及び「プレティン優秀クラブ賞」を獲得し、大いに気を吐きました。これも平素の皆様のご活動の成果と心よりお礼申し上げます。

ただ、わがコンパニオンクラブ、「なかのしまクラブ」は、Yサ、CS、BFなど7部門に入賞し、同クラブの平素よりの活発な活動が裏付けられました。私たちもこの機会に日常活動を見直し更に活発な活動に向けて前進したいものです。

(藤原記)

連絡職員：神田 尚人

* 早天祈祷会

日時：7月16日(金) 午前7時半～8時半
場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル
証し：内田 弘志 氏(大阪YMCA職員)
会費：300円(軽食代)

* 「安全の日」キャンペーン

大阪YMCAは、7月18日を「安全の日」と定め、毎年キャンペーンを実施しております。この日に因んだ作品を募集しておりますので、奮ってご応募ください。

テーマ：「安全について(自分の体験談)」
作品：ポスター、イラスト・漫画、標語・作文
人賞：入選(図書券1冊)、佳作(図書券5冊)
締切り：7月31日
問合せ：本部事務局(☎6441-0894)

☆☆IBCニュース速報☆☆

念願のハワイ Nuuanu Y's Men's & Women's Club との交流が6月末遂に実現しました。

残念ながら香港 Bauhinia Club を含めた3クラブによるトライアングルは実現できませんでした。ワイズスピリットに溢れたヌアヌクラブの皆さんとの交流は、訪問者一同に大きな感動を与えました。訪問の詳細につきましては「特集号」にて詳しくお知らせ致します。乞ご期待(藤原記)

—6月BFニュース—

BF委員長：山村 幸明

◇切手提供者：

坂本君、栗山君、山田君、田中君、山村君
中村君、隅田君、黒田君、三浦君、鈴木君
* 山田君(139gr.)

◇現金提供者：栗山君、山田君、山村君

2年間のご協力、誠に有難うございました。

\$\$\$ファンドレポート\$\$\$

ファンド委員長：山田 孝彦

	(6月)	(累計)
現金	2,400円	59,690円
テレカ	1000円0枚 500円0枚	1000円x 2枚 500円x17枚
テレカ換金額		18,480円*
ファンド合計		<u>78,180円</u>

*(前年繰越し分を含む)

【クラブ運営について】

(会長：川村一夫君)

標語：楽しい奉仕活動、
笑ってゆるして

新たなる21世紀へ向けての組織強化に努める。政治抑圧や経済的貧困の中で、国家建設を進めるアジアの人々、アジア諸国のYMCA、ワイズの仲間に関心を寄せ、地球人としてのボランティア精神をもって活動することをモットーとする。

かく言う私はずぶの素人で未熟ではありますが、本気、やる気、勇気を持ってクラブ運営の舵取りを行う所存であります。

(1) YMCAとセンテニアルクラブの連携強化

YMCAは、時代の変革と共に経済的にも運動体としても大変困難な状況におかれています。YMCAとセンテニアルクラブの関係を更に強化し、互いに知恵を出し合い、連携して活動することを願うものです。幸い我クラブには、神田尚人氏という得難い人を連絡職員として迎えています。更に徹底した議論の中から、我々に求められる使命に向けて、新たな、そして具体的な一歩を踏み出せるようにしていきたいと思っています。

(2) EMC活動の充実・会員増強に向けて

EMC活動の充実については、歴代会長が何度も訴えてこられました。退会者を無くし、ワイズメン個々人がワイズ活動の場に足を運び、ワイズ運動の楽しさを体験し、情熱を持ってEMCに取り組んでいけば会員増強は達成できると確信します。

(3) 地域の人達と地域に奉仕できるプログラムを計画

お年玉付き年賀はがきの当選はがきを蒐集、TOF献金についても広くYMCAや地域の人たちと想いを共にできる方法を考え実践していきたい。

(4) BF事業に理解を

使用済切手、現金合わせて3000円収集を目標に毎年事業が進められてきました。皆様のご協力でBF協力度で当クラブは西日本区の上位にいます。今年もBF事業への積極的な参加を図りたい。

(5) ワイズが支えるEF・JWF

世界の弱いワイズを支えるのがEFです。そして日本のYMCA、ワイズ基金になるのがJWFです。わがセンテニアルクラブもエントリーします。

(6) メネットと共にあるワイズ

“家族ぐるみ”で活動できる奉仕クラブの特徴をフルに活用しましょう。メネットを例会や活動の場に誘い、一緒になって積極的な活動をしましょう。

あれやこれや書きましたが、どうか申し上げたいことをお汲み取り頂いて、皆様方の絶大なるご支援、ご鞭撻をお願い致します。

【各委員長運営方針】

◇EMC (委員長：畠中 彬 君)

EMCは新人会員を確保し、会員相互のいい関係を作り上げることを目標に、本年度は次の2点を方針としていきたいと考えます。

まず新人会員の確保については、前任者黒田様の意志を引継ぎ、年間3人を目指したい。そしてその1人はできれば女性会員とし、多様・多質なセンテニアルクラブを作っていきます。

そして会員同志のつながりを密にするために例会においても行事やイベントの案内や報告のみではなく、会員同志がよく知りあうための会員のスピーチや近況報告などを取り入れていけばと考えております。

◇BF (委員長：坂本哲郎君)

方針：BFポイント換出の意義を認識し、目標を達成する。

計画：例会や研修会でみんなで楽しく切手整理を最低年2回実施する。

◇Yサ - ASF (委員長：福永嘉彦君)

方針：①YMCAの使命、運動基本方針の理解
②大阪YMCAの国際・社会奉仕プログラムの継続支援

③大阪YMCAと当クラブとの連携強化
計画：①YMCAとの定期協議の継続による相互理解の促進

②恒例のチャリティーランに協力
③チャリティーコンサート(ベルリン・ジグ・アカデミー合唱、大阪YMCAとの共催)

④西日本区ASF事業計画への支援
⑤YMCA人材育成計画への支援

予算：300,000円(前年度予算+チャリティーコンサート(9/22)支援)

*チャリティーラン補助 100,000円

99 / 2000年度事業運営方針・計画 - 2

- ◇プログラム (委員長: 山田孝彦君)
 方針: クラブの活性化のベースは例会をはじめクラブの諸行事への出席率向上です。メンバーが是非出席しようという気持ちになる様な、色々な仕掛けを工夫して、実行して行きます。
 計画: ①今年から変わる例会場の新しい魅力をアピールして、行ってみようという気持ちを引き出す。
 ②例会終了後の2次会を有効に演出する手立てを考える。
 ③第2例会会場の変更による会費負担の軽減を利し、役員以外のメンバーの自由参加を促進(メーキャップ率向上)
 ④例会スピーカーにクラブメンバーをできる限り多く登場させるプログラムの工夫(ショートスピーチ)
 ⑤六甲YMCAを利用した1泊研修を2回実施。ワーキングキャンプと切手整理を中心とした、楽しいプランを企画
 予算: 前年度通り

- ◇CS-TOP (委員長: 隅田保君)
 方針: ①「関西いのちの電話」の支援継続
 ②年賀ハガキ当選切手シートの収集強化
 ③リストコイン収集継続
 予算: 「関西いのちの電話」
 賛助会費 10,000
 寄付金 20,000 (夏季・年末)
 チャリティーコンサート
 賛助広告 10,000 (8月)
 チケット補助 30,000
 バザー-協賛金 10,000 (11月)

- ◇プリテン・広報 (委員長: 藤原正巳君)
 方針: 活動内容PRのため、読みよく、親しみやすい「簡潔な機関紙」を発行する。
 計画: ①特別号を除きA3「1枚もの」で作成
 ②より大きな活字の採用を検討
 ③個人消息、ブラザークラブ情報の充実
 ④区・部広報活動方針への積極的な対応

- ◇YEPP-STEP (委員長: 中村隆君)
 方針: ①YEPP事業の理解促進
 計画: ①YEPP留学経験者体験発表の実施

- ◇ファン (委員長: 山村幸明君)
 方針: 隅田元委員長、山田前委員長の方針を引継ぎ、ファンの拡大を図る。
 計画: ①クラブ例会、ピーパーティー、クリスマスなどの機会に物品販売を行う。

- ◇IBC-DBC (委員長: 谷川寛君)
 方針: ①ハワイ、香港のブラザークラブとの交流を更に深めましょう。
 ②国内ブラザーを引継ぎ検討します。
 計画: ①ブラザークラブへの情報発信の強化
 当クラブ活動トピックスのブラザークラブ宛発信の定例化。

- ◇ドライバー (委員長: 柴田健君)
 方針: 前年度に引継ぎ、例会の活性化に役立つドライバーでありたいと考えております。

- ◇メネット会 (会長: 隅田恵子君)
 方針: ①メネット間の親睦を深める
 ②YMCA、及びクラブへの奉仕
 計画: ①YMCA留学生の支援、大阪青年発送お手伝い
 ②例会、メネットナイトの奉仕
 ③メネット基金のための物品販売

99 / 2000年度 中西部役員・クラブ会長

(中西部役員)

部長	加藤 寅尾 茂木
次期部長	森本 榮三 高槻
直前部長	栗山 佳三 大阪センテニアル
書記	高田 一 豊中
会計	田中 正 茂木
監事	石橋 ルキ 豊中
代議員	山村 幸明 大阪センテニアル
代議員	青木 郁二 千里

(事業主査)

YMCA-ASF	井上佑起子	大阪なかのしま
CS-TOP	西村 和雄	大阪西
E M C	高木 史朗	大阪ヴェクセル
B F	坂本 哲郎	大阪センテニアル
EF-JWF	道関 和宏	大阪土佐堀
IBC-DBC	則武 秀尚	大阪セントラル
YEPP-STEP	三井 泰正	大阪
-YIA		
メネット	横井 雅子	豊中

(クラブ会長)

大阪	北村 知三	大阪センテニアル	川村 一夫
大阪土佐堀	北村 昭四	大阪西	藤原 重信
大阪豊中	中野 智美	大阪淡木	岡村 千陰
大阪千里	岩井証治郎	大阪セントラル	丸尾 欽造
大阪高槻	栗田 達夫	大阪なかのしま	桑野 友子
枚方	—	大阪ヴェクセル	生地 義治

